



宗田理さんインタビュー



文化のみち二葉館では、8月3日から文学企画「宗田理展―ぼくらの七日間戦争」ができるまでとそれから」を開催します(9月8日まで)。この企画展を機に、宗田理さん(88歳)にインタビューを行いました。現在、ここ文化のみち二葉館がある名古屋市中区に暮らし、作家活動を続けています。

Q:代表作『ぼくらの七日間戦争』はどのような生きたのでしょうか。

東京タイムズに連載されていた「少年塞団」の単行本を読んだ角川書店の編集者の娘さん(当時小学5年生)が、「お父さん、これ面白いよ」といったことで、その編集者から「ああいうようなものをうちでも書いて」といわれて書いたのが『ぼくらの七日間戦争』(角川書店、1985年)。当時は、全共闘世代の子どもがちょうど中学生ぐらいで、学園闘争であんなに暴れたのに、自分の子どもは勉強ばかりさせて良い学校に入れようとしていた。それはおかしい、ちょっと違うと思って全共闘世代の大人に対するパロディとして書いた。

Q:88年には宮沢りえさん主演で映画化されていますね。

出版してすぐに映画の話があちこちからきたけど、結局、角川でやることになった。それから、あれ1冊じゃつまらないから、続編も出そうということが出たら売れた。角川の当時の専務から「宗田さん、子ども向けの本はみんな1冊くらいはうまく書けるが、書き続ける人は少ないですよ」といわれて、それなら書いてみようというシリーズ化した。それがきっかけになって、その後ずっと1年に3冊のペースで子ども向けの本を書き続けた。

Q:小さい頃はどんな本を読んでいたか。

父が改造社の『現代日本文学全集』を持っていて、その中でも特に佐藤春夫の「美しい町」が好きだった。家には、他にも怪盗ルパンやシャーロックホームズなどの本が沢山あり、小さい頃から色々読める環境にあった。父が亡

くなって愛知県に引っ越した時も沢山持ってきた。中学生の頃は、草刈りをさせられている暇に松林の下で、外国の探偵小説や、日本だと江戸川乱歩の「少年探偵団」を読んでいた。小さい頃から本を読むのが好きだった。

Q:では、書き始めたのはいつからですか。

40代から。それまでは食べていくために他の仕事をしてきた。でも、そっちがうまくいかなかった。それで、編集者をやっていた頃、作家たちに企画を持って書いてもらったことを思い出して、それなら自分でやってみよう。初めはゴーストライターとして「動脈列島」(清水行著、光文社、1975年)を書いた。したら、その年の推理作家協会賞が取れた。これならいけると思って、自分の名前を書くことにした。最初の小説『未知海域』(河出書房、1979年)が、その年の直木賞候補になったことで、仕事がいっぱいくるようになった。最初は経済ものなど大人向けの本を多く書いていたけど、途中から子ども向けの作品ばかりになった。今になって良かったと思う。

Q:これからも子ども向けの本を書き続けていきますか。

これからといっても、あと何年生きられるかわからないから(笑)。まだ本が売れているからかもしれないが、出版社は100歳まで生きるといふね。でも、ただ長生きすればいいというものではない。書いているものが売れるか、売れないか、子どもがそれを認めてくれるかどうか、が大切だね。ぼく自身はどうやって面白い小説を書こうかということが主であって、余計なことは考えない。人生で小説を書いているときが一番面白いね。

これからも先生の作品を楽しみにしています。ありがとうございます。

※トークイベントに宗田理さんが来館します!! 詳しくは裏面イベントスケジュールをご覧ください。

8月

姫きもの展 薄物の世界～透ける美しさ～
軽やかで“涼感”のあるミニチュア着物を展示します。
■8月3日(水)～8月7日(日)10:00～17:00 (最終日は15:00まで)
■会場:2階和室1、2

「飾って楽しむミニゆかた」制作無料講習会
8月4日(木)・8月5日(金)
■各日 第一回10:30～12:00 第二回13:30～15:00
■定員:各10名 ■材料費:¥1000
裁縫道具(糸、針、はさみ)をご持参ください。
※申し込み方法・受付日:7月26日(火)10:00～12:00
文化のみち二葉館へ電話申し込み



ふたば茶屋の冷抹茶サービス
入館先着100名様に冷抹茶を進呈します。
■8月6日(土)11:00～
■11時より、受付にて呈茶券を配布。
■会場:1階集會室

9月 September
伝統芸能「正調名古屋甚句・端唄」無料体験講習会と「三味線」初心者無料講習会
■9月10日(土)
13:00～13:45 「正調名古屋甚句・端唄」講習会
14:00～14:45 「三味線」初心者講習会
■会場:1階集會室 ■定員:各15名
※申し込み方法・受付日:8月26日(金)10:00～12:00
文化のみち二葉館へ電話申し込み

端唄・小唄 春夏秋冬～男が唄う女心、女が唄う男心～
■9月19日(月・祝/敬老の日)13:30～14:30
■会場:1階大広間



甚富華 華房小真

11月 November
「歩こう!文化のみち」ふたば茶屋の抹茶サービス
入館先着100名様に抹茶を進呈します。
■11月3日(木・祝)11:00～
■11時より、受付にて呈茶券を配布。
■会場:1階集會室



日本舞踊 西川流 おどり夢子ども舞踊団
西川舞踊団の4歳から15歳までのメンバーで構成された「おどり夢」が、日本舞踊を披露します。
■11月3日(木・祝)13:30～14:30
■会場:1階大広間



トニクエコきっぷ・一日乗車券・メーグル1DAYチケットで入館料割引一般200円→160円



宗田理展―「ぼくらの七日間戦争」ができるまでとそれから―
代表作『ぼくらの七日間戦争』で知られる宗田理による、これまでの幅広い創作活動についてご紹介します。
■8月3日(水)～9月8日(木)10:00～17:00
■会場:2階展示室



撮影:水谷積男

トークイベント「宗田理の作品と背景」
■対談:宗田理×伊達百合(元編集担当者)
■日時:8月27日(土)13:30～15:00
■会場:1階大広間 ※当日先着順自由席

10月 October

稲葉真弓展
同人誌「作家」で活動し、川端康成文学賞などを受賞した郷土の作家、稲葉真弓の作品やその背景についてご紹介します。
■10月13日(木)～11月17日(木)10:00～17:00
■会場:2階展示室

トークイベント「稲葉真弓を語る」
■対談:三田村博史(中部ベンクラブ会長)×山下智恵子(同人誌「遊民」同人)



■10月23日(日)13:30～15:00
■会場:1階大広間 ※当日先着順自由席

スタンド硝子アート&スタンドグラス作品展～四季の移ろい～

新しい技法のスタンド硝子アートとスタンドグラスを展示します。
■10月8日(土)～10月16日(日)10:00～17:00
※10月11日(火)は休館日
■会場:1階集會室、2階和室1、2



文化のみち・スタンドグラス建築探訪ツアー

■10月16日(日)10:30～(当日1ツアーのみ)
■会場:文化のみち二葉館、文化のみち榎木館、カトリック主税町教会、市政資料館、陶磁器会館
※申し込み方法・受付日:10月6日(木)10:00～12:00
文化のみち二葉館へ電話申し込み ※参加料無料 当日は入館無料

12月 December

伝統芸能「正調名古屋甚句・端唄」無料体験講習会と「三味線」初心者無料講習会
■12月3日(土)13:00～13:45 「正調名古屋甚句・端唄」講習会
14:00～14:45 「三味線」初心者講習会
■会場:1階集會室 ■定員:各15名
※申し込み方法・受付日:11月25日(金)10:00～12:00
文化のみち二葉館へ電話申し込み

炫け!第四回名古屋百人甚句
一年をふり返り百人による合唱で正調名古屋甚句をはじめ、楽しい甚句と地方唄を唄いましょう。
■12月18日(日)13:00～14:00 ■会場:1階大広間